

6月定例会号

目次

- ・特集 心と技で紡ぐ 弓道の伝統 P2
- ・正副議長の挨拶／6月定例会の概要 P4
- ・採決状況／委員会の構成 P5
- ・一般質問 P6
- ・委員会審査の概要 P10
- ・永年在職議員表彰など P12

わかやま 市議会だより

No.118 令和7年(2025年)8月1日発行

時代を超えて響く



心と技で紡ぐ弓道の伝統

弓道は日本古来の伝統武芸であり、スポーツとしてだけでなく、奥深い哲学や文化があります。また、和歌山市には弓道の偉人「和佐大八郎」生誕地という歴史があります。今回は、弓道の伝統を引き継ぎ活動されている和歌山市弓友会さんを取材しました。



情熱が集う場所

和歌山市弓友会は、弓道を愛する人々が集う場所として、長年活動している団体です。現在は、竹口慶子会長、飯田貞一副会長、生駒佳典相談役を中心に、12歳から76歳までの55名が河南総合体育館弓道場で稽古に励まれています。

大きな弓を引くには力や体格が必要という印象がありました。が、「老若男女問わずにできることが魅力の一つ」

と竹口さん。最近では漫画やアニメの影響で弓道を始める若い方も増えた。うれしそうに話して下さいました。

指導者不足などから、初心者向けの教室は開催が困難ながら、高段者が稽古の合間を縫ってボランティアで指導を行っているそうです。

「興味を持って下さった皆さんに魅力を伝え、それぞれが向上できるようお手伝いをしたい」という弓友会の皆さんからは、弓道を未来へと引き継いでいきたいという強い思いを感じました。

初めての弓道



心得 正しい射法で射られた矢は必ずあたると意味の「正射必中」を学んだ上で、自己と向き合い、心を養い、礼節を重んじる精神的修練を積むことで、品格のある美しい射を目指します。



歴史 日本では古来弓は神器として考えられ、畏敬の念や信仰により他の国では見られない長弓になったそうです。現在では、伝統文化としての側面を持ちながら、精神修養や競技としての発展を続けています。

真・善・美

古くから戦いの道具として、世界中で使用されていた弓。戦闘具としての時代が終わると、技術だけではなく精神修養も目的とされ、日本独自の武道として発展し親しまれるようになりました。弓道が掲げる最高目標は「人間完成」。人として精神的に成長するための修練により、その目標に近づきます。正しい射法を追求し、的にあててこそ目指す「真」の心だけではなく、自分と向き合うことで心を養った

り、礼節を重んじる「善」の心がそろうたときに、「真善美」と呼ばれる品格ある美しい射が生まれるそうです。いつ敵が襲って来ても反応できる気合を常に保ち、所作一つでも気が抜けると指導される世界。「入場する前からの心の整え方も含めた射行が、たつた2本の射の成功か失敗かにつながる。そのような奥深いところが魅力であり難しさ」と語っていた竹口さんが行射を始めた瞬間、道場の空気が引き締まり、その所作の美しさや静寂の中に響く弦音の力強さに思わず息をのみました。

受け継がれる精神

和歌山市には、多くの歴史や文化がありますが、弓道にも偉人「和佐大八郎」生誕地というつながりがあります。江戸時代、現在の和佐地区に生まれた大八郎は弓術家として名をはせました。

当時、京都の三十三間堂で24時間かけて行われた通し矢で、紀州や尾張の藩士が集い天下を競っていました。紀州藩でも城に三十三間堂の射場を模した堂形射場を設置し、修練していたそうです。市立博物館所蔵の資料に

よると、大八郎は通し矢で総計1万3053本の矢を放ち、8133本を射通したという不滅の記録が残っています。また、和佐地区にあるお墓の横には看板が立てられ、偉業の功績を伝えています。歴史に名を刻む大八郎の精神は、今も和歌山市に息づいているのを感じました。人間完成を目指す弓道の精神に終わりはありません。市議会としても、社会情勢が大きく変化する中、現状に満足することなく、成長と発展を目指し、未来へとつながる取組に全力を注いでまいります。



和佐大八郎のお墓、市立博物館訪問の様子



和佐大八郎について

市立博物館所蔵の資料には、通し矢が始まったとされる慶長11年からの記録が記されており、和佐大八郎が貞享3年に天下一となったことが分かります。また、100本毎の矢数を記録した資料には、6、7秒に1本矢を射るペースで、平均6割以上の成功率を24時間続けるという驚異的な数字が残っています。

編集後記



和歌山市弓友会の活動、今後の展望等を市役所で取材し、河南総合体育館で練習を見学させていただきました。その後、和佐大八郎のお墓参り、市立博物館で資料を見させていただき大八郎の軌跡をたどりしました。

和歌山市議会としても弓道環境の整備と指導者の確保ができるよう、応援してまいります。

特集担当: 辻本 太一、山野 麻衣子、永野 裕久

競技

弓具を選ぶことによって、老若男女ができる武道。的まで28mの近的競技と、60mの遠的競技があります。段位や称号の合格のためには、的中だけではなく、礼儀や所作の美しさも評価されます。



射法

射法八節と呼ばれる8つの動作で構成されます。足踏みから始まり、胴造り、弓構え、打起し、引分け、会、離れ、残心へと続き、正しい姿勢と精神統一を重視する射法です。



6月定例会採決状況

※議案等に対する賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」と表記しています。
なお、議長は通常、採決に加わらないため「/」としています。また、議員名は、会派ごとに議席番号順に表記しています。
※採決状況は、市議会ホームページでもご覧いただけます。

議案番号	件名	結果	創和クラブ										公明党議員団					民主クラブ		和歌山興志クラブ		日本共産党議員団		日本維新の会		無所属												
			辻本太一	林元光	志賀弘明	浜田真輔	中村元彦	中谷謙二	丹羽直己	芝本正人	戸田祐典	古川宏一	山本宏一	北野均	遠藤富士雄	堀登美子	木野十三	堀良子	西園章世	園内浩樹	藪浩昭	奥山昭博	松本哲郎	山路恭世	清末博善		山中敏生	川端康史	山本忠相	赤松良寛	永野裕久	吉本昌純	尾崎方哉	坂口多美子	南畑幸代	森下佐知子	中庄谷孝次郎	山野麻衣子
承1	市長専決処分事項の承認(令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第1号))	承認	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承2	市長専決処分事項の承認(和歌山市税条例等の一部改正)	承認	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議1	令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議2	令和7年度和歌山市駐車場管理事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議3	令和7年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議4	令和7年度和歌山市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議5	和歌山市職員の育児休業等に関する条例等の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議6	和歌山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議7	和歌山市印鑑条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議8	和歌山市小児慢性特定疾病児童等に係る日常生活用具の給付に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議9	和歌山市営片男波海水浴場駐車場条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議10	市道路線認定(16路線)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議11	あらたに生じた土地の確認	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議12	字の区域の変更	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議13	令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議14	工事請負契約の締結(下水道整備工事 貴志地区梅原その1 (仮称)梅原広場アクセス道路新設工事その1)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議15	工事請負契約の締結(下水道整備工事 貴志地区梅原その2 (仮称)梅原広場アクセス道路新設工事その2)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議16	物品購入契約(化学消防ポンプ自動車Ⅱ型)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議17	物品購入契約(小型動力ポンプ付き軽積載車)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議18	物品購入契約(高度救命処置用資機材)	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議19	和歌山市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議20	監査委員の選任	同意	○	○	○	○	○	-	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議21	副市長の選任	同意	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
諮1～5	人権擁護委員候補者の推薦	意義なし	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議1	給食無償化に際し、質・量の確保を担保するための国による十分な予算措置を求める意見書案	可決	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

委員会の構成

総務委員会				厚生委員会			
◎堀 良子	○志賀 弘明	中庄谷孝次郎		◎川端 康史	○堀 登美子	坂口多美子	
永野 裕久	園内 浩樹	中谷 謙二		辻本 太一	浜田 真輔	井上 直樹	
森下佐知子	山本 忠相	戸田 正人		吉本 昌純	松本 哲郎	古川 祐典	
経済文教委員会				建設企業委員会			
◎赤松 良寛	○山路 恭世	木野 十三		◎中村 元彦	○清末 博善	山野麻衣子	
林元 光広	南畑 幸代	山中 敏生		藪 浩昭	尾崎 方哉	奥山 昭博	
西風 章世	丹羽 直子	北野 均		山本 宏一	遠藤富士雄		
議会運営委員会							
◎浜田 真輔	○藪 浩昭	清末 博善		堀 良子	辻本 太一	山野麻衣子	
川端 康史	森下佐知子	吉本 昌純		北野 均			
◎委員長 ○副委員長							

次の定例会は、9月です!

和歌山市議会では、本会議場にモニターを設置し、会議の進行状況等が分かりやすくなりました。
また、傍聴の手続も簡素化したので、お気軽にお越しください。



生中継・録画中継がご覧いただけます。

議長・副議長の経歴



副議長

にしかせ あきよ
西風 章世

(令和7年6月12日就任)
平成23年初当選 現在4期目
総務委員会副委員長
広報委員会委員長
厚生委員会委員長
などを歴任



第91代議長

しばもと かずき
芝本 和己

(令和7年6月12日就任)
平成15年初当選 現在6期目
建設企業委員会委員長
総務委員会委員長
和歌山市議会副議長
などを歴任

市民の皆様方には、いつも市議会活動、市政にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。
このたび、和歌山市議会の議長並びに副議長に就任いたしました。その使命と職責の重大さを痛感し、身の引き締まる思いです。
私たち市議会は、市民の皆様のお声を大切にし、自然にあふれ、歴史と伝統ある和歌山市の発展のため日々真摯に議論を重ねております。市政を取り巻く状況は、昨今の物価高騰や激甚化・頻発化する自然災害、人口構造の変化や市民ニーズの多様化など課題が山積しております。
これらに的確に対応していくため、積極的な提案・議論を行い、一三代表制の一翼として市民の皆様の思いを市政に反映していくという責務を果たしてまいりますので、より一層、市議会へのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

正副議長の挨拶



動画がご覧いただけます

6月定例会の概要

開会

6月12日

- ・会期の決定(6月12日～6月30日)
- ・正副議長の選挙
- ・議会運営委員会委員の選任

・永年在職議員表彰

・議案説明(報告関係8件、承認関係2件、議案19件(補正予算案5件、条例案6件、その他8件))

一般質問等

6月16日

- ・仮議長の選任
- ・常任委員会委員の選任
- ・広報委員会委員の選任
- ・追加議案の説明(人事案件1件)、採決
- ・林元光広議員、清末博善議員、坂口多美子議員

6月18日

・堀 良子議員、南畑幸代議員、吉本昌純議員

6月19日

・井上直樹議員、北野均議員
(P6～P9に概要掲載)
・議案の委員会付託

常任委員会

6月20日～25日

・総務委員会、厚生委員会、経済文教委員会、建設企業委員会で議案について審査

6月26日

・各常任委員会で議案について、討論及び採決(P10～P11に概要掲載)

閉会

6月30日

- ・各常任委員会の委員長報告
- ・採決
- ・追加議案の説明(人事案件6件)、採決
- ・議員発議(意見書案1件)、採決

ピックアップ! 一般質問



録画中継をご覧いただけます。

一般質問の概要では、多数ある質問項目の中から、特に市民の皆様へお届けする内容をピックアップした上で掲載しています。

※各会派のスペースは、会派の所属議員数によりその大きさが異なります。

創和クラブ



はやしもと みつひろ
林 元 光広

夜間・休日診療センターの混雑対策

問 年末に子供の発熱で受診したが車が渋滞し、発熱で苦しむ我が子を抱えたまま長時間待たされたと切実な声が市民から寄せられた。そこで、(一)年末年始の医師・看護師の増員や臨時診療施設の設定、(二)看護師によるトリアージ導入やオ

ンライン予約・遠隔診療体制の整備、(三)臨時駐車場を確保し、シャトルバスの運行やタクシー優先レーンの導入、(四)24時間営業薬局との連携、(五)キャッシュレス決済の導入、(六)自動精算機の導入の6つの具体策を提案するがどうか。



答 医療DXに係る提案について、検討を進めている。そのほか、待ち時間短縮に向けあらゆる可能性を排せずに検討を行っていく。

今後も医療DXに係る費用対効果を丁寧に検討するなど、できる限り混雑緩和に努めていく。

介護保険

問 本市では、要介護申請から認定結果が出るまでに

1か月以上かかるケースが常態化しており、緊急を要する被保険者が必要な介護サービスを迅速に受けられない実情がある。

認定が遅延している主な原因はどこにあると分析しているか。また、認定期間短縮に向けた業務改善策を講じた実績はあるか。

答 介護度が改善すれば報酬が高くなる「逆介護保険」導入など、介護の在り方を共に考えていただきたい。

答 新型コロナウイルス対策として要介護度を1年延長する臨時的措置が実施され、措置が終了した令和6年度に更新申請が集中したが、急増に対応する調査員の不足などにより遅延している。

また、令和6年度中に調査員を増員し、今年度には調査委託依頼先を近隣市の事業所に拡大する等、調査件数の増加に取り組んでおり、遅延が改善しつつある。

和歌山市庁舎の老朽化と今後の在り方

問 1976年竣工の市庁舎は、老朽箇所がいくつもあ

構造計算がされているとのことだが、2000年以降の耐震基準で再評価を行う必要はないのか。

また、中間階のせん断破壊や、液状化時における杭基礎の水平力対応など、地下構造に關しての検証・対策はどのようにしているか。

将来の本市庁舎について、若手職員や市民の意見も参考に、柔軟かつ創造的な選択肢を視野に入れ、検討を進めていただきたい。



和歌山市役所本庁舎

答 国の通知に基づき、本庁舎が新耐震設計と同等の耐震性を有することを確認しており、再評価を行う必要がないと考えている。

また、新耐震基準と同等の耐震性を有していることから、せん断破壊などにつ

いては問題ないと考えているが、地下構造に関する検証・対策には至っていない。



きたの ひとし
北野 均

台湾高雄スマートシティサミット&エキスポ訪問

問 平成30年に和歌山市議会と高雄市議会が交流促進覚書を交わして以降、両市議会を通じ交流が徐々に深まり、令和6年11月に和歌山市、高雄市の行政間で都市交流促進覚書が調印され、友好的な付き合いが始まった結果、2025高雄スマートシティサミット&エキスポのご招待を受けた。



高雄市政府表敬訪問

高雄市政府が進めるDXは、システムを開発する企業に開発費用を補助し、高雄市各行政部門を所管する部局と関連企業が連携して、市全体をスマートシティ化する政策が実施されている。

多くの分野でDXを進め、行政施策の評価や市民の日常生活、社会活動から得られたデジタル情報を蓄積しつつ、人口270万人余りを擁する高雄市独自のビッグデータを構成し、それらを分析活用して効率的な施策を構築しようとする姿には、教示される点が多かった。

本市ははじめ全国の自治体では、「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」の施行に伴い、システム標準化事業と称して、国が指定する20の基幹業務について、政府や地方自治体が共通利用できるガバメントクラウドの整備が令和6年度から始まっている。

この事業は、市役所の事務業務が国仕様のシステムに統一され、国施策の遂行がスムーズになるが、市民生活に關係するといえ、そのことをもって本市の行政

DXが進展したというのであれば、高雄市のような交通、医療など市民生活に直接的な利便をもたらすDX政策とは趣が異なるように思う。

標準化システムへの移行による本市のメリットを考えた場合、全国の自治体から国のガバメントクラウドに集まった膨大な情報、ビッグデータは貴重だが、本市がそのデータを活用してオリジナルな市の政策立案が可能なのかどうか。



スマートシティサミット&エキスポの開催

答 これまでは部門間や他自治体とのデータを連携・交換する際、複雑な変換処理が必要で、多くの手間とコストがかかっていたが、標準化システムでは、データ要件及び連携要件の仕様が統一

されることで、こうした障壁が解消され、利活用が容易になる。現在は入力された申請情報を印刷し、改めて業務システムに手入力しているが、将来的には申請データを業務システムに連携することで、手続きの簡素化や申請時間の短縮といった、市民サービスの質的向上が期待される。

問 和歌山市が標ぼうするスマートシティとはどのような姿なのか。

答 スマートシティの取組を官民挙げて進めるため、令和3年に和歌山市スマートシティ推進プラットフォームを立ち上げた。このプラットフォームとも連携し、「まちのスマート化」「行政のDX」「市内事業者のDX」の3つの取組を進める。

公明党議員団



ほり とみこ
堀 登美子

高齢者サービスの向上

問 老人優待利用券を手にしたとき、老人という名称に驚いたとの市民の声があった。また、元氣70パスをもらうには支所・連絡所まで行かなければならず、申請や手続きもアナログで不便であるとの指摘もあった。

名称や制度設計が、高齢者の意欲や自己肯定感に与える影響は大きく、より多くの高齢者が積極的に制度を活用できるよう、老人優待利用券の見直しが必要であると考えるがどうか。

また、利用者の利便性向上や業務の効率化に向け、DX化を推進すべきと考え



無料優待施設
・和歌山城天守閣 (TEL 422-8979)
・わかやま歴史館 (2階) 歴史展示室 (TEL 435-1044)
・市立博物館 (TEL 423-0003)
・市立市民温水プール (TEL 455-8022)
・市立こども科学館 (TEL 432-0002)

答 利用する方が抵抗感のないような名称を検討し、使いやすいサービスになるよ

う調査・研究していく。

DX化推進の観点からも、利用者の利便性向上や業務の効率化について調査・研究していく。

プレコンセプションケアの推進

問 プレコンセプションケアの概念は、男女性別を問わず、適切な時期に性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠出産を含めた将来設計や健康管理まで行うものである。全国的にも、この取組を広げていくという流れが始まっている。

本市での取組状況はどうか。また、プレコンセプションケアを推進するため、相談窓口設置や情報発信などの取組を早急にすべきだと考えるがどうか。

答 健康和歌山21(第3次)計画に基づき、適切な生活習慣に関する知識の普及啓発の取組をしている。

今後、各種保健事業の機会やSNS等を活用し、理解を進め相談事業の充実を図るとともに、ライフステージに応じた正しい知識の普及啓発に努めていく。



ほり 堀 よしこ 良子

農業政策

問 「担い手不足」は農業従事者にとって切実な問題である。新しい担い手として農業を始めるには多額の初期投資が必要で、経営を軌道に乗せるのも容易ではない。担い手の減少に歯止めをかけるためにも、経済的支援など若い世代が安心して就農できる環境を整えることが必要不可欠である。

答 農業政策の要となる担い手育成のためのプロジェクトチームを全庁体制で立ち上げるべきと考えるがどうか。



答 新規就農相談をはじめとして、国の補助金も活用しながら、就農当初に係る不安を解消すべく支援など行っている。

全庁体制のプロジェクトチームについては関係各課と連携の上、「担い手の育成・確保」に係る施策の充実を図るため、他都市の先進事例の研究を進める。

教育施策

問 不登校が低年齢化している今、小学校にも校内教育支援センター（SSR）を設置すべきと考えるがどうか。また不登校の一人一人の背景は多様でその支援もそれぞれの児童生徒に依じていかなければいけない。文科省が提唱し全国に飛躍的に増えている「学びの多様な学校」を本市でも設置すべきと考えるがどうか。

答 中学校及び義務教育学校にSSRを設置したことにより、学びが継続できる場の一つとなった。小学校においても、不登校児童等の状況やニーズに応じながら検討を進める。

学びの多様な学校が不登校児童等の学びの継続の場の一つであることは認識している。SSRに通う児童や、夜間中学を希望する不登校学齢生徒の状況等を見ながら、設置の可能性について研究していく。

民主クラブ



きよすえ ひろよし 清末 博善

子ども子育て支援事業

問 待機児童が解消されていない状況下で、こども誰でも通園制度を試行することについてどう考えるか。

答 待機児童は認識しているが、未就園児のより良い成長につながる制度として利用者ニーズを把握し、課題等を検証する上で試行的実施は必要と考える。

問 こども誰でも通園制度と二時預かり事業を見比べる、対象年齢や条件、利用可能施設、利用料金、利用時間など、ほとんど二時預かり事業の方が手厚い。待機

児童があつても来年度にはこども誰でも通園制度を本格実施するのか。

答 こども誰でも通園制度は、子供の育ちを支えることを目的としており、令和8年度から全自治体において行う責務を有する。来年度以降は、今年度の試行実施を踏まえ本格実施する。

問 こども誰でも通園制度が始まると、職員の負担も大きくなるため、待遇や環境も制度開始にあわせて改善される必要があると思うが、国に強く要望するつもりはあるか。

答 今年度の試行的実施の中から職員の声を聞き、課題を検証し、今後示される来年度の国基準を踏まえて要望する。



やまなか としお 山中 敏生

和歌山市のキャリア教育の取組

問 職場体験出前授業の取組に対して、学校単位でかなり温度差がある。

しているところである。

和歌山興志クラブ



よしもと まさずみ 吉本 昌純

和歌山駅周辺整備

問 和歌山駅の利便性向上を図り、乗降客を増やすためには、エレベーターの設備がない9番線（貴志川線）のバリアフリー化が喫緊の課題だと思ふ。

答 バリアフリー化をはじめ、様々な課題に向け、JR・和歌山電鐵・県などと協議を進め、環境整備すべきだと考えるがどうか。

答 和歌山の顔となる魅力的な玄関口の整備、周辺エリアとの結び付きの強化やまちなか回遊性の向上、ユニバーサルデザインやバリアフリーへの配慮など、駅周辺の生活環境の向上等を目指し、引き続き、JR西日本や和歌山電鐵、和歌山県、鉄道利用者等、多様な関係者と意見交換を行いながら

進めていく。

公共交通政策

問 和歌山電鐵貴志川線はインバウンドの観光客や、本市東南部地域の皆さんの身近な公共交通として親しまれており、この鉄道を何とか存続させたいという思いは、東西山・東・岡崎・安原・三田・宮・宮前地域の皆さんの願いである。将来を見据えて鉄道を残し走らせるためには、鉄道が走る線路等の保線業務は行政で担当し、運営は和歌山電鐵で運行するという「上下分離方式」でなければ到底かなわず、この考え方を市の方針として関係各機関と協議を進めることを強く望むがどうか。



貴志川線たま電車

答 今後の支援については、

日本共産党議員団



さかくち たみこ 坂口 多美子

訪問介護へ独自支援を

問 昨年、訪問介護報酬が引き下げられ、事業所の経営悪化、人手不足が進んでいる。処遇改善加算1を取得している事業所でも年間100万円減収しており、このままでは介護崩壊しかねない。他自治体のように減収補填やガソリン代の支給など市独自の財政支援が必要と考えるがどうか。

答 実効性が高い支援策を引き続き国へ強く要望する。

出前授業や職場体験について、少なくとも希望する学校生徒には機会を平等に設けていたいただきたいと考えるがどうか。

答 形だけの授業をこなすのではなく、全ての学校で実際に意味のある職場体験や、出前授業の実施ができるようにしていただきたい。

答 地域の事業所等の協力を得ながら、生徒にとって有意義な教育活動となるよう取り組んでいく。

学校給食の中止判断時の対応

問 決定を早くすることはできないのか。若しくは、材料を準備してしまつた事業者への補償を行えないか。

答 一部の納入業者からは、食材補償について困っているとの相談を受けており、情報連絡に漏れがないよう業者に速やかな周知徹底をお願いできないか。

答 現在よりも早い時間帯での判断は難しい。給食中止により使用できなくなつた食材は、納入業者と協議を行い、食材代金の支払いをするよう各学校へ周知

無所属



いのうえ なおき 井上 直樹

国際交流

問 しっかりと計画を立て、それに見合った来年度予算を付ける考えはあるか。

答 財政運営上、優先せざるを得ない分野はあるものの、長期的な視点を持った予算配分も重要であると認識している。今後適切な配分をしていきたいと考える。

声の市議会だより

（市議会だよりの音声版）

市議会の活動をより一層知っていただくために、声の市議会だより（市議会だよりの音声版）を作成しています。

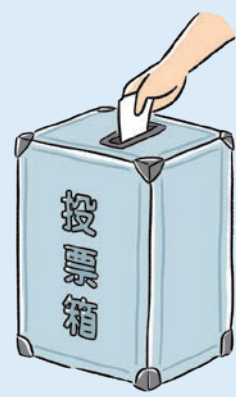
ご希望の方は、議会事務局 秘書広報課
☎435-1120 までご連絡ください。

委員会審査の概要

総務委員会

当委員会に付託された承認案件2件及び議案10件について、慎重審査の結果、承認及び可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

承第1号、市長専決処分事項の承認を求めるについて。これは、令和7年6月1日執行の和歌山県知事選挙に係る予算について、地方自治法第179条第1項の規定に基づき令和7年4月22日付けで市長専決処分したものを、同条第3項の規定により議会へ報告し、承認を求めるものです。



承第2号、市長専決処分事項の承認を求めるについて。これは、地方税法等が改正されたことに伴う和歌山市税条例等の一部改正について、地方自治法第179条第1項の規定に基づき令和7年3月31

日付で市長専決処分したものを、同条第3項の規定により議会へ報告し、承認を求めるものです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、国勢調査事業739万4千円について。これは、国勢調査事業において、県支出金の内示に合わせて増額補正するものです。

議案第6号、和歌山市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について。これは、育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律及び次世代育成支援対策推進法の一部を改正する法律が公布され、子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡充の規定が整備されたことに伴い、職員に対する休業制度等の仕事と育児の両立支援制度に関する情報提供及び個別の意向確認に関して、所要の改正を行うものです。

なお、審査過程において、FAV TOWN事業におけるQUOカードの活用などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



6月20日



6月24日

厚生委員会

当委員会に付託された議案4件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、コミュニティ助成事業(自治会)1090万円について。これは、コミュニティ助成金を活用し、自治会館の建設及び住民が自主的に行うコミュニティ活動に必要な備品の整備費用を助成するものです。

介護給付事業3623万6千円について。これは、令和7年10月から就労選択支援を開始するに当たり、障害福祉システムの改修を行うものです。

生活保護事業1045万円について。これは、令和7年10月の生活扶助基準見直し及び令和8年度の被保護者調査の調査項目変更に対応するため、生活保護システムを改修するものです。

新型コロナウイルスワクチン接種事業4118万4千円の減額について。これは、厚生労働省が新型コロナウイルスワクチン確保事業に対する助成を終了したことに対する歳入及び自己負担額の見直しに伴い、減額するものです。



清掃センター管理事業1136万1千円について。これは、清掃センター内のごみ計量装置が故障したため、修繕を行うものです。

議案第3号、令和7年度和歌山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)中、後期高齢者医療事務事業1006万4千円について。これは、後期高齢者医療制度の資格確認書の送付に必要な経費を増額補正するものです。

なお、審査過程において、高齢者世話付き住宅生活援助員派遣事業、令和6年度生活保護法第78条適用状況、マイナンバーカード普及促進事業に係る未受取のQUOカードの活用、脱炭素化推進事業(個人宅の太陽光発電設備のクレジット化)などについて、執行部からそれぞれ報告があり、これらに対し、各委員から意見、指摘及び要望がありました。

録画中継



6月23日



6月25日

経済文教委員会

当委員会に付託された議案3件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、けやきスペシャルパレード開催事業807万7千円について。これは、中高生によるマーチングを行うけやきスペシャルパレードを開催するものです。

コミュニティ助成事業(和歌山城公園イベント)80万円について。これは、コミュニティ助成金を活用し、和歌山城公園動物園の初代園長ベニーをしのぶとともに、本動物園への愛着を醸成するため、ベニーのミニチュア着色体験イベントを開催するものです。



生前のベニー

体育館管理運営事業1151万4千円について。これは、スポー

録画中継



6月23日



6月25日

建設企業委員会

当委員会に付託された議案6件について、慎重審査の結果、可決すべきものと議決されました。なお、議案の主なものについては、次のとおりです。

議案第1号、令和7年度和歌山市一般会計補正予算(第2号)中、インフラメンテナンス包括的民間委託事業1208万円について。これは、道路施設等のインフラメンテナンスにおける包括的民間委託の導入を検討するため、調査を行うものです。

地方道整備事業(市道北ぶらくり丁線設計業務)2356万円について。これは、北ぶらくり丁商店街について、居心地が良く歩きたくなる空間の創出を図るため、市道北ぶらくり丁線の利活用調査及び道路設計を行うものです。

消防団の力向上モデル事業500万円について。これは、消防団のクラブチーム「広報デザイン部」が動画制作研修を受け、効果的な消防団活動のPRを行うものです。

地域創生ソフト事業(防火啓発)300万円について。これは、地域創生ソフト事業交付金を活用し、防火啓発用音声の更新や音楽イベントを通じて防火啓発を行うものです。



中之島つどい館(旧中之島保育所)

録画中継



6月20日



6月24日

委員会の様子をインターネットで配信しています!

市議会ホームページから録画中継がご覧いただけます。

永年在職議員表彰

和歌山市議会6月定例会において、永年在職議員として、次の議員が表彰されました。

在職30年



きたの ひとし
北野 均 議員



なかたに けんじ
中谷 謙二 議員



なかむら もとひこ
中村 元彦 議員



はまだ しんすけ
浜田 真輔 議員



やまの まいこ
山野 麻衣子 議員

ようこそ! 和歌山市議会へ

5月26日に雑賀小学校、30日に有功東小学校の6年生が、議場見学に来られました。広報委員が議場や委員会室などをご案内し、市議会の役割について説明しました。また、6月18日に広瀬小学校の6年生が、議会の傍聴に来られました。

市議会では主権者教育を推進しており、これをきっかけに市議会に興味を持っていただければうれしいです。



議場見学の様子



議会傍聴の様子

議員連盟

活動 レポート

Vol.32

スポーツ振興・全国大会誘致和歌山市議会議員連盟は、スポーツの振興・全国大会誘致活動の一環として、このたび、名古屋市やシブヤeスタジアムを視察し、eスポーツに関する事業や取組についてご説明いただきました。また、Red°TOKYO TOWERではeスポーツを体験し、スポーツ庁訪問では先進事例等についてご教示いただきました。



シブヤeスタジアム
訪問の様子

広報委員会からのお知らせ

議会広報について、 専門家のアドバイスを 受けました!



5月30日に公益社団法人日本広報協会理事・広報アドバイザーの川上和久様を講師にお迎えし、時代に即した最新の議会広報についてアドバイスをいただきました。講演後には活発な質疑応答が行われるなど、大変有意義な時間となりました。今回の研修を通じ、より市民に最も身近な議会を目指して広報活動に取り組んでまいります。



アドバイス研修会の様子

和歌山市議会広報委員会

【委員長】林元 光広

【副委員長】木野 十三

【委員】中庄谷 孝次郎

坂口 多美子 山路 恭世

清末 博善

赤松 良寛

堀 登美子

辻本 太一

志賀 弘明

市議会だよりを採点してください!

議会広報アンケート
実施期間:
令和7年10月31日
(金)まで



現在
★3.4!!
★★★★☆
R7.6月時点



和歌山市議会ホームページ

和歌山市議会

検索

<http://www.city.wakayama.wakayama.jp/gikai/>

地球環境保護のために、
再生紙及び植物油インキを使用しています。

